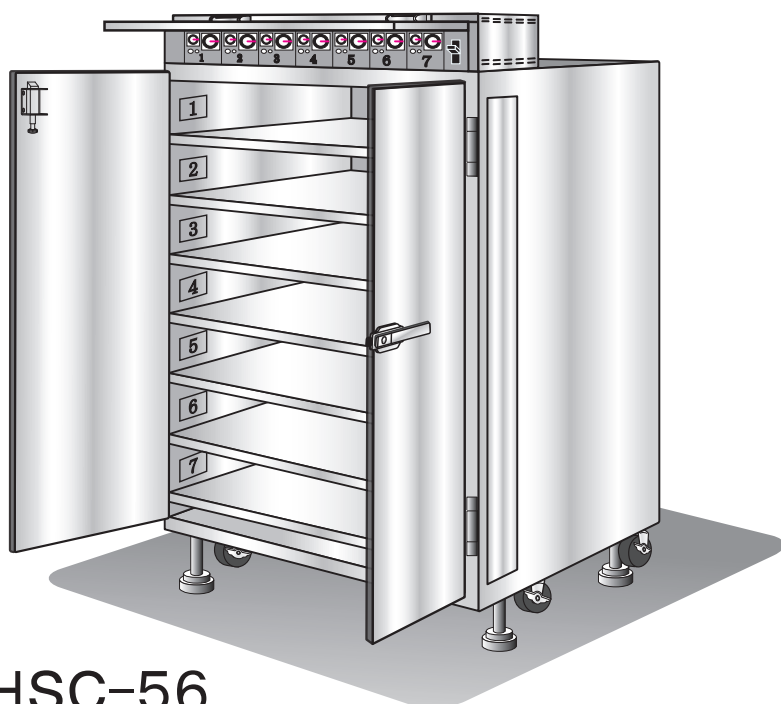
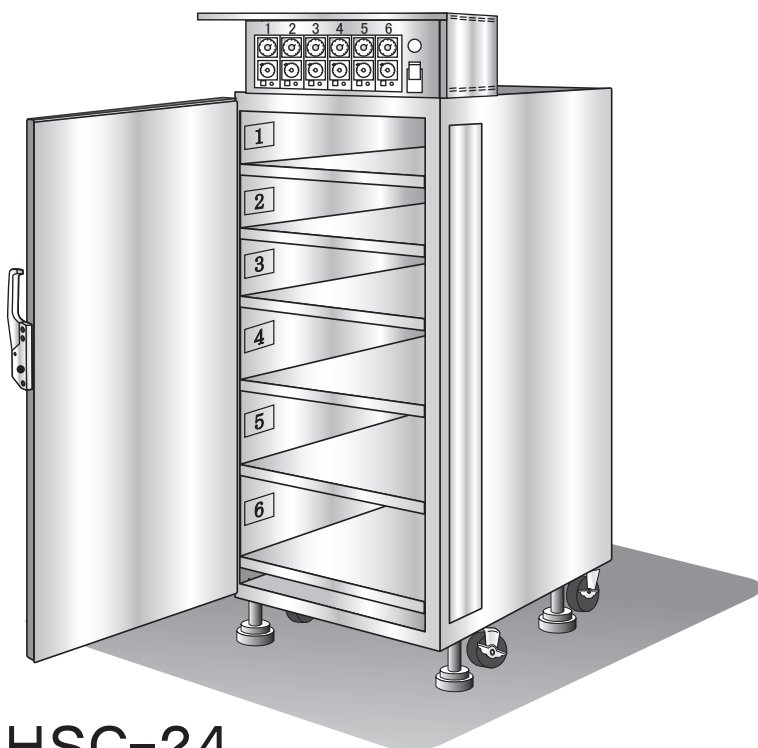


ホットストッカー カートン専用



HSC-56



HSC-24

この度は「ホットストッカー カートン専用」を、お買い求め
いただきましてありがとうございました。
この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

本機は自販機への補充飲料をあらかじめ、カートンごとに
加温するためのストッカーです。

目 次

1. 安全上のご注意	1
2. 各部の名称と機能	3
3. 設置	5
4. 使い方	6
5. 仕様表	11
6. 困ったときは	12
7. アフターサービスについて	13

製品保証規定

- ◎ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ◎ ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。
- ◎ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。

— 安全のために必ずお守りください —

■ 誤った使いかたをしたときに生じる、危険や損害の程度を区分して説明しています。

 警告	死亡または重傷を負う恐れがある内容です。
---	----------------------

 注意	軽傷を負うことや財産の損害が発生する恐れがある内容です。
---	------------------------------

■ お守りいただく内容の種類を次の区分で説明しています。

	製品の取り扱いにおいて、してはいけない内容です。
	製品の取り扱いにおいて、実行しなければならない内容です。

設置するとき

 警告		● 右記のものの近くには絶対に設置をしない ・発火の恐れがあります。 可燃物 可燃性ガス 揮発性の高いもの
		● 「交流200ボルト」以外の電圧で使用しない ・発火や感電の恐れがあります。
		● 延長ケーブルやタコ足配線、他の器具との分岐コンセントは使用しない ・分岐コンセント部分や電線が異常過熱し、火災の原因になります。
		● 本体に水を掛けたり、水につけたり、水洗いをしない ・感電や故障の恐れがあります。
		● 電源コードを加工したり、無理に変形させたりしない ・発火や感電の恐れがあります。
		● 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む ・発火や感電の恐れがあります。
		● 雨水のかからない場所に設置する ・製品内部に水が入り、感電の恐れがあります。
		● 湿気の少ない場所に設置する ・湿気が多いと電気配線・コードが劣化して、感電の恐れがあります。
 注意		● 運搬は必ず2人で行う ・1人で行うと本体を転倒させ、ケガや本体を破損する恐れがあります。
		● 「水平で丈夫な場所」に置く ・転倒してケガをする恐れがあります。

使用するとき

 警告		● 容器のぬれた飲料は入れない ・製品内部に水が入り感電の恐れがあります。
		● ぬれた手で電源スイッチを操作しない ・皮膚がぬれていると電気を通しやすくなり、感電の恐れがあります。
		● 飲料容器をカートンから取り出して直接加温しない ・品質の劣化や容器が変形する恐れがあります。
 注意		● 本体の上に物を乗せたり、寄り掛かったりしない ・転倒事故でケガをしたり、製品故障の原因になります。
		● ドアは勢いよく開け閉めしない ・ヒンジやハンドルなどが破損する恐れがあります。
		● 運転中はヒータープレートに手を触れない ・ヤケドの恐れがあります。
		● 炭酸飲料は絶対に温めない ・破裂する恐れがあります。
		● 牛乳や食品は温めない ・品質が劣化する恐れがあります。
		● 「コールド専用品」の表示がある飲料は温めない ・品質の劣化や容器が変形する恐れがあります。
		● 庫内に入れる飲料の品質保持のために、「先入れ先出し販売」を行う ・品質が劣化する恐れがあります。

お手入れのとき・移動するとき

 警告		● 電源スイッチ部には、水や洗剤をかけない ・感電の恐れがあります。
		● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない ・皮膚がぬれていると電気を通しやすくなり、感電の恐れがあります。
		● 電源コードを引っ張って電源プラグを抜かない ・電源コードが破損して、感電や発火の恐れがあります。
		● お手入れや移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く ・機器に電気が供給されているため、感電の恐れがあります。
		● 万一、本体を転倒させたり破損した場合は、ただちに使用を停止して点検を受ける ・内部の電気配線が破損している場合など、感電や発火の恐れがあります。
 注意		● 庫内に飲料を入れたまま本体を移動しない ・キャスターが故障したり、中の飲料が落下してケガをする恐れがあります。

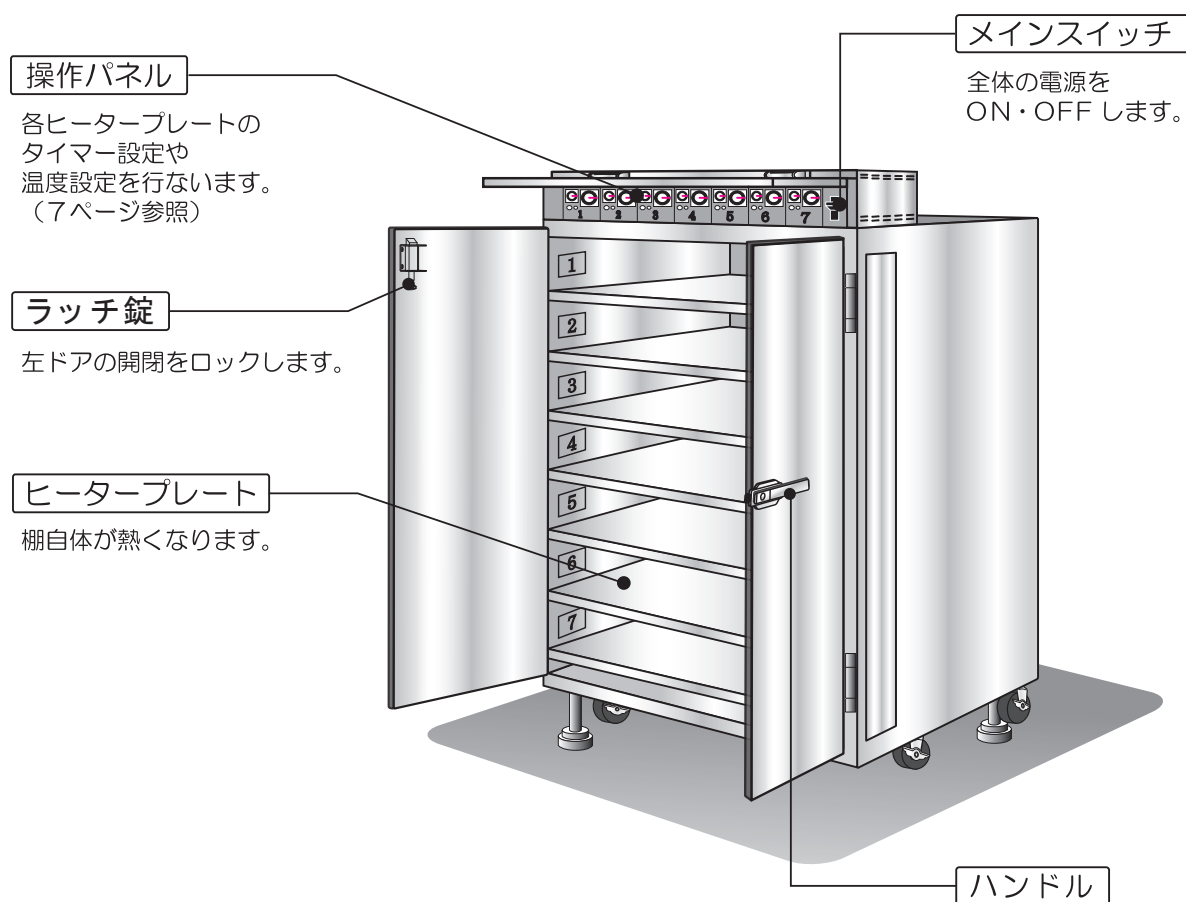
正常に作動しないとき

 警告		● 当社指定の修理業者以外は、絶対に分解したり修理は行わない ・発火したり、異常動作してケガの恐れがあります。
 注意		● 庫内の飲料が異常に「あつい」ときは、使用を停止する ・ヤケドの恐れがあります。「サービス窓口」にお問い合わせください。(13ページ参照)

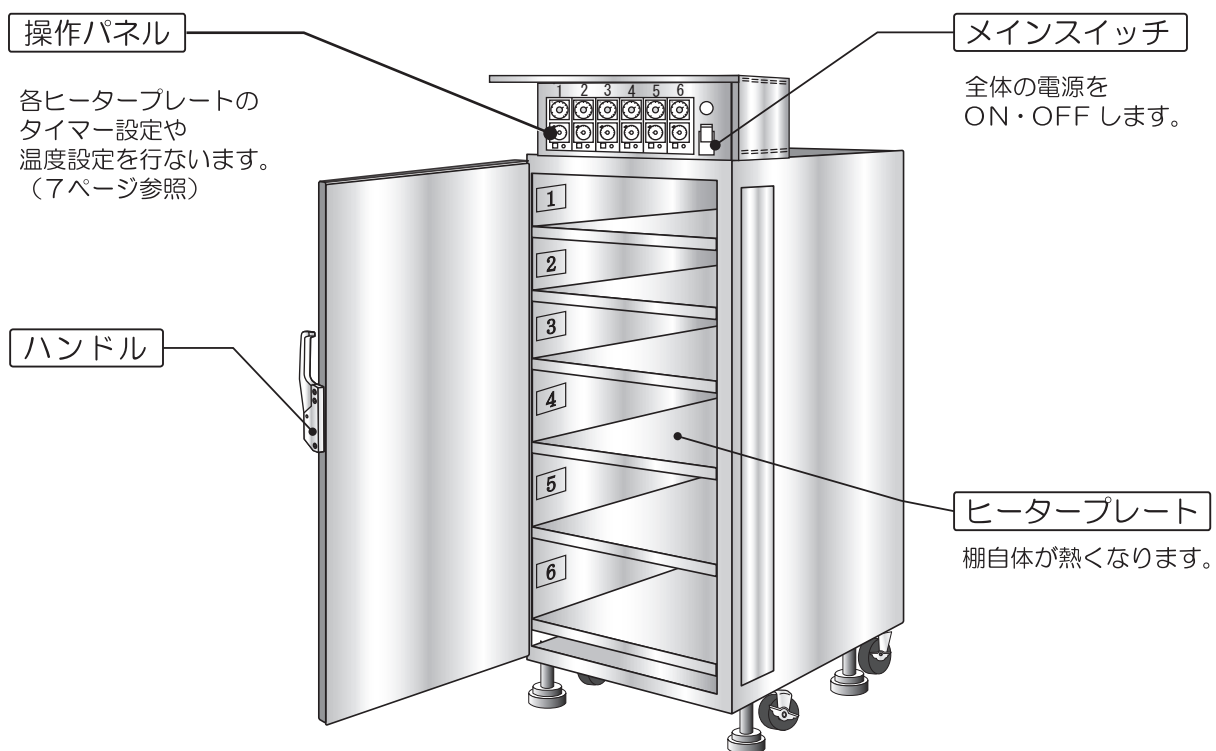
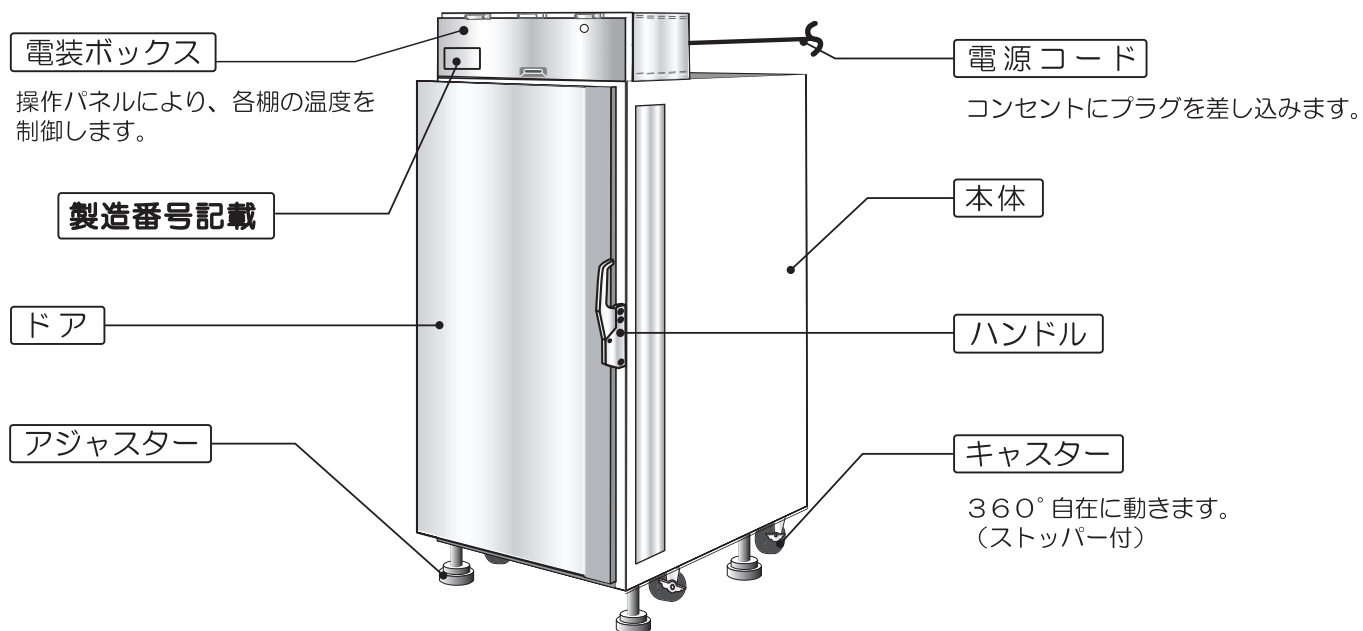
ご使用にならないとき

 注意		● 湿気の少ないところに保管する ・電気配線・コードが劣化して、再度ご使用される際に感電の恐れがあります。
--	---	--

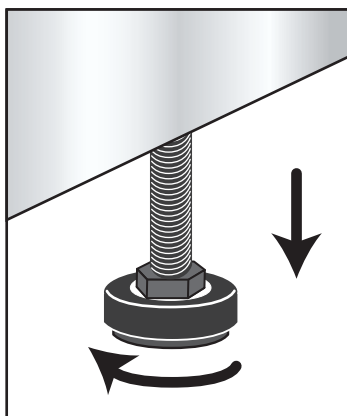
HSC-56



HSC-24



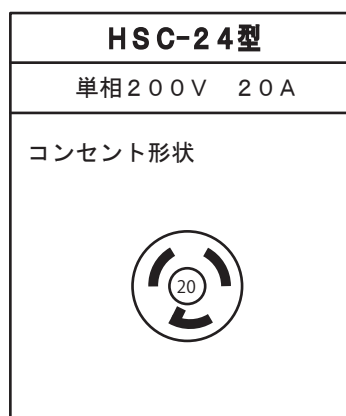
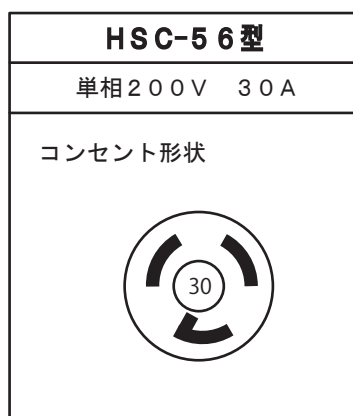
- ① 本体は、屋内の水平で段差のない場所に設置します。
- ② 飲料カートンを入れる前に、アジャスター4本を下げ、
キャスターに重量が掛からないようにしてください。



矢印の方向に回すと、伸びます。

- ③ 電源を入れます。
コンセントにプラグを差し込み、右に回してロックします。

※ コンセント側アースは必ず接地してください。



- ① ドアを開け、加温する棚にカートンごと入れてください。

※ カートンから出しての直接加温は絶対に行わないでください。
飲料容器の変形につながります。

※ PET飲料は上下方向がありますので、必ず飲み口を上にして入れてください。

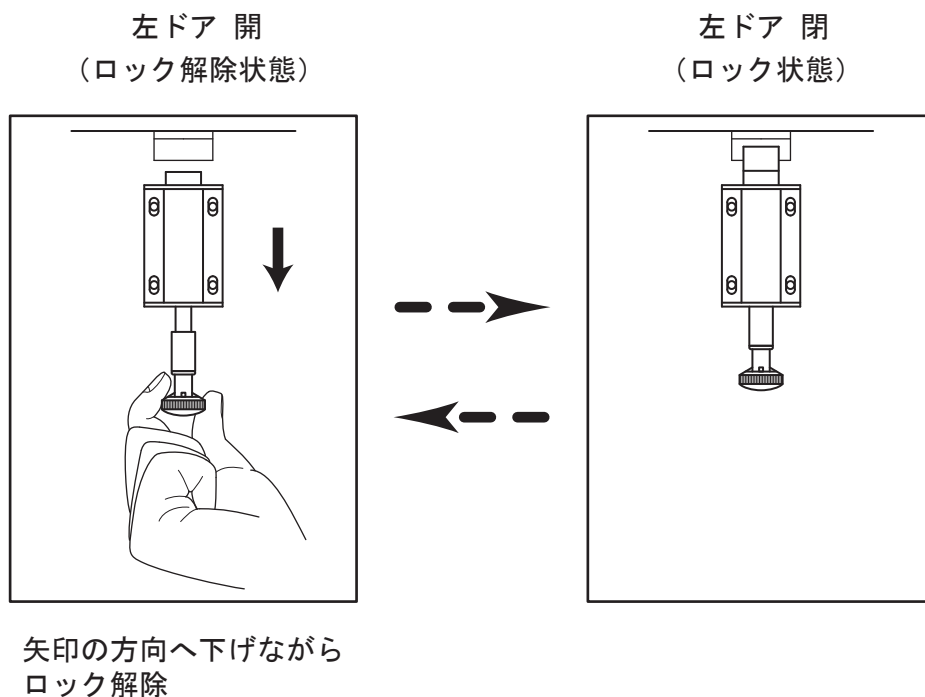
※ 一つの棚に加温済飲料カートンと加温前飲料カートンを混載して入れないでください。
飲料容器の変形につながります。

HSC-56の場合

左ドアを開けるときは、内側上部にあるラッチ錠のロックを解除しながら開けてください。

左ドアを閉めるときは、ロック解除は必要ありません。そのまま閉めてください。

※ 加温中のラッチ錠は非常に熱くなっております。
ヤケドにご注意ください。



- ② ドアを閉めます。

※ 運転中はしっかりドアを閉め、長時間ドアを開けっぱなしにしないでください。
ヒーターの稼働時間が増え、飲料の過剰加熱や、飲料容器の変形につながります。

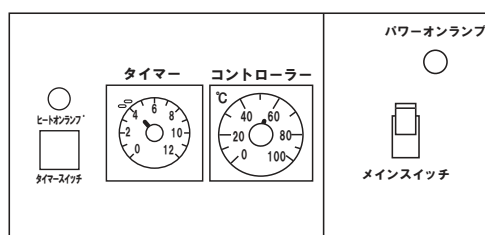
※ 必要な時は、付属の鍵でハンドルを施錠してください。

- ③ 飲料が入っている棚番号のコントローラーを55℃に合わせます。
飲料温度が50～60℃になります。

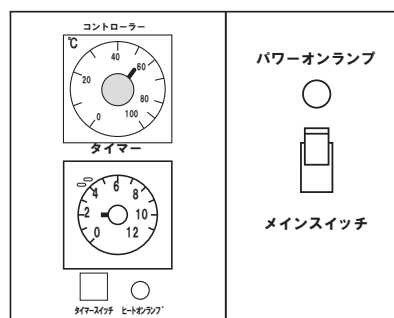
※ 飲料の入っていない棚はコントローラーを0℃にしておきます。
また、コントローラーは60℃以上回らない構造です。
それ以上は無理に回さないでください。

- ④ メインスイッチをONにします。
パワーオンランプが点灯します。
コントローラーをセットした棚のヒートオンランプも点灯し、
加温が始まります。

操作パネル



HSC-56



HSC-24

飲料温度が50℃に到達する目安時間

50℃に到達する 目安時間	HSC-56	10h
	HSC-24	9h

※ 上記時間はコントローラーを55℃に設定した時に、
内容量280mlのPET飲料が、
50℃に到達する目安時間になります。

※ スタート時の飲料温度、カートン数とカートン位置により、
飲料温度が50℃に到達する時間にバラツキがあります。

短時間で昇温する必要がある場合

急速加熱使用時は、通常加熱時よりも庫内が高温になります。
そのため誤った使用方法や操作をすると、飲料が過剰に加熱されてしまい、
品質の劣化や容器の変形につながります。

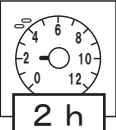
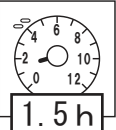
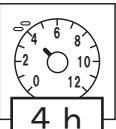
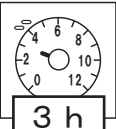
短時間で加熱を完了させる必要がない場合は、通常加熱による加熱をしてください。

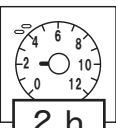
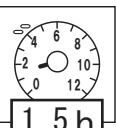
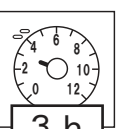
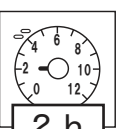
【急速加熱機能ご使用上の注意】

- ・ スタート時飲料温度とカートン数で急速加熱タイマーの目安時間が変わります。
下記の目安表に従ってタイマーをセットしてください。
- ・ 一つの棚に加熱済飲料カートンと加熱前飲料カートンを混載しないでください。
- ・ 急速加熱終了後の再急速加熱は行わないでください。

【急速加熱機能の使い方】

- ① 下表を参考にしてタイマーをセットしてください。

HSC-56 タイマー目安		スタート時飲料温度	
		10℃	20℃
1棚あたり カートン数	1 カートン	 2 h	 1.5 h
	6 カートン	 4 h	 3 h

HSC-24 タイマー目安		スタート時飲料温度	
		10℃	20℃
1棚あたり カートン数	1 カートン	 2 h	 1.5 h
	3 カートン	 3 h	 2 h

※ 上記時間はあくまでも目安となっています。

※ 上記時間は内容量280mlのPET飲料を50℃にするのに必要なタイマーの目安時間になります。

※ HSC-56タイマーは4時間、HSC-24タイマーは3時間以上回らない構造です。
それ以上は無理に回さないでください。

- ② タイマースイッチ（青）を押してください。
タイマー小ランプが点滅し、急速加熱が始まります。
タイマーでセットした時間を過ぎるとタイマー小ランプが消灯し、
急速加熱が終了します。

※ タイマー小ランプ点滅中（急速加熱中）は、タイマースイッチを押さないでください。
誤って押してしまうとそれまでのタイマー時間のカウントがリセットされ、
ゼロからの再カウントとなり、急速加熱が長時間におよんでしまいます。
そのため品質の劣化や容器の変形につながる恐れがあります。
誤って押してしまった場合、次を参照して急速加熱を強制終了し、
経過時間を差し引いて、改めてタイマーを再セットしてください。

【急速加熱の強制終了方法】

タイマースイッチを押し間違えた、タイマー設定を間違えていたなど、
状況に応じて以下の方法で急速加熱を強制終了してください。

< 全棚の急速加熱を一度に強制終了させたい場合 >

⇒ メインスイッチを切ってください。全棚のタイマーが切れます。
メインスイッチを入れなおすと、急速加熱オフの通常加熱で再始動します。
急速加熱機能を改めて使う場合、タイマーを再セットしてからご使用ください。

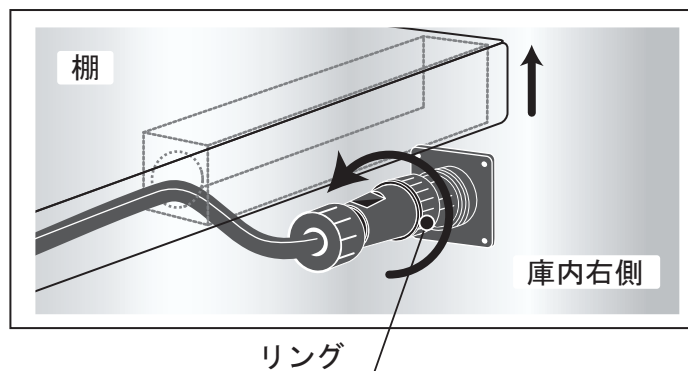
< 各棚ごとに急速加熱を強制終了させたい場合 >

⇒ 急速加熱を強制終了させたい棚のタイマーを“0”にしてください。
タイマー小ランプが消灯してタイマーが切れ、急速加熱オフの通常加熱に移行します。
急速加熱機能を改めて使う場合、タイマーを再セットしてからご使用ください。

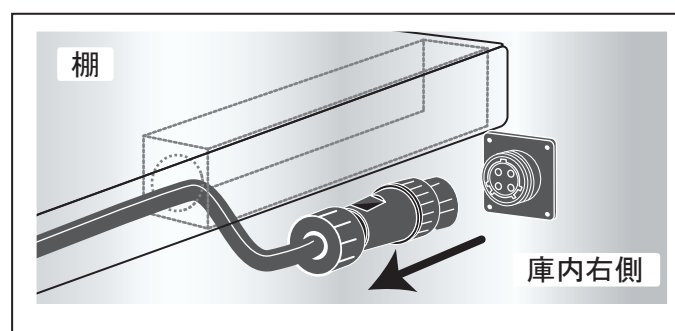
棚を取り外したい場合

- ① 各棚右手前側を少し持ち上げると、すぐ下にメタルコネクタがあります。
- ※ コードがあまり長くないので極端に持ち上げないでください。

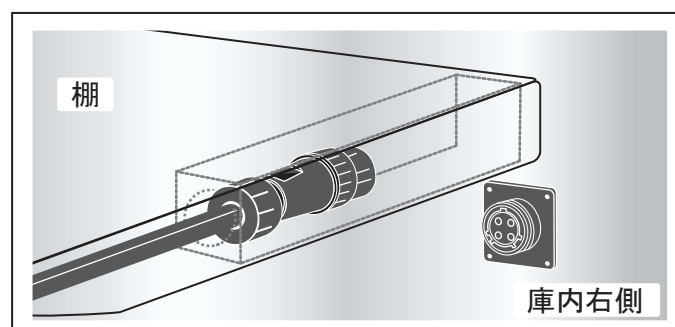
- ② 棚側メタルコネクタのリングを左（反時計回り）に回します。



- ③ リングがネジ部から外れたら、コネクタ本体を引き抜きます。



- ④ 引き抜いたメタルコネクタは、棚の奥に収納します。



- ⑤ コードに注意しながら棚を持ち上げ、手前に移動して取り外します。
- ※ 棚は4点の支え金具に載っているだけで、固定はされておりません。

- ⑥ 取り付けるときは、上記の①～⑤を逆の順番で行なってください。
- ※ 4点の支え金具の凸を棚の凹に合わせて落とし込んでください。

名称	形 式 名 称	H S C - 5 6	H S C - 2 4
収 納 飲 料 数	収 納 棚 数	7 段 （取り外し可能）	6 段 （取り外し可能）
	250ml 缶	56カートン （1680本）	24カートン （720本）
	345ml 角ペットボトル	56カートン （1344本）	24カートン （576本）
	350ml 丸ペットボトル	42カートン （1008本）	18カートン （432本）
	500ml 丸ペットボトル	棚を隔1段外した場合、18カートン（432本）	9カートン （216本）
電 気 関 係	電 源	単相 AC200V	
	定格消費電力	4.48 KW	3.02 KW
	電 流	22.4 A	15.1 A
	温 度 調 節	電子温度調節器（サーミスタ式） 各段独立温度調節可能	
	急 速 加 熱	各段加熱スタート時、タイマー加熱	
	加 熱 方 式	ホットプレート式	
	コ ン セ ント	接地引掛け 2P 200V 30A	接地引掛け 2P 200V 20A
そ の 他	本 体 寸 法	W 1330 X D 865 X H 1900	W 800 X D 865 X H 1900
	庫 内 寸 法	W 1230 X D 750 X H 1550	W 700 X D 750 X H 1463
	(棚有効寸法)	7段 W1225 X D740 X H190	W 695 X D 740 X H 190
			W 695 X D 740 X H 230
	本 体 重 量	約 280kg	約 180kg
	安 全 装 置	各段、1次・2次過昇防止バイメタルサーモ付	
	本 体 外 装	SUS 430 t1.0 HL	
	本 体 内 装	SUS 430 t1.0 BA	
	付 属 品	ハンドル用鍵 2ヶ	

※ 仕様は、製品の改良などにより変更となることがあります。

修理の依頼をされる前に、下記の項目をお試してください。

扉の開閉がスムーズに出来ない

- 設置場所が凸凹になっていませんか？ ⇒ 水平で段差のない場所に設置してください。
- 左右水平になっていますか？ ⇒ 左右水平にしてください。

パワーオンランプがつかない

- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ ⇒ 電源プラグをきちんとコンセントに差し込んでください。
- 配電盤のブレーカーがきれていませんか？ ⇒ ご自分で直せない場合、お近くの電気工事店で修理を依頼してください。

ヒータープレートが熱くならない

- メインスイッチが“OFF”になっていませんか？ ⇒ メインスイッチを“ON”にしてください。
- コントローラーの設定温度が“0”になっていませんか？ ⇒ 正しく温度設定をしてください。
- ヒータープレート右前の接続部（メタルコネクタ）が外れていませんか？ ⇒ メタルコネクタを接続してください。

飲料が異常に熱い

- コントローラーの設定温度が高くなっていませんか？ ⇒ 通常、設定温度は55℃です。
- 急速加熱途中、再びタイマースイッチを押していませんか？ ⇒ 加熱のしすぎです。
もう一度、使い方をよくお読みのうえ、正しくタイマーをご使用ください。
- 急速加熱終了後、再度急速加熱をしていませんか？ ⇒ 加熱のしすぎです。
もう一度、使い方をよくお読みのうえ、連続して急速加熱をしないでください。

飲料が異常にぬるい

- コントローラーの設定温度が低くなっていませんか？ ⇒ 通常、設定温度は55℃です。
- 急速加熱タイマーの設定時間が極端に短くなっていませんか？ ⇒ もう一度、使い方をよくお読みのうえ、最適時間をセットしてください。

■ 修理を依頼される前に

- まず、「困ったときは⇒12ページ」の内容を必ずご確認ください。
- それでも直らないときは、サービス窓口（下記）にお問い合わせください。

■ 製 品 の 保 証

- 保証期間中は、製品保証規定に従って無償にて修理いたします。
- 保証期間が過ぎている場合は、有償修理とさせていただきます。
- 補修部品の保有期間は、該当機種製造終了後5年間です。

■ 修理依頼のしかた

サービス窓口下記事項をお伝えください。

- 店 舗 名
- 店舗番号
- 型 式 **HSC-56 / HSC-24**
- 製品番号（電装ボックス左側の製品銘板に記載されている6ケタの数字）
- 故障内容

サービス窓口



日本ヒーター機器株式会社

〒143-0016 東京都大田区大森北1-23-1 NETビル2F

顧客サービス課

 フリーダイヤル

0120-009-187

FAX
03-3768-8222

（年中無休）

製品保証規定

品 名	ホットストッカー カートン専用
型 式	HSC-56 / HSC-24

1. 保証期間：納品日より1年間
2. 製品が保証期間内に故障した場合、無償修理をいたします。
3. 保証期間中でも次の場合は有償修理となります。
 - 1) 不適当な取り扱いによる故障または損傷の場合
 - 2) 故障の原因が、本製品以外の他の機器による場合
 - 3) 天災地変、異常電圧等による故障、損傷の場合
 - 4) 当社指定のサービスマン以外の方が修理された場合
 - 5) 製品・部品に改造が施されている場合
4. 本規定は日本国内のみ有効です。



日本ヒーター機器株式会社

〒143-0016 東京都大田区大森北1-23-1 NETビル 2F